

## 第4学年4組 外国語活動学習指導案

### 1 単元 I like Mondays.

### 2 目標

- “What day do you like?”や“I like Mondays.”といった表現を使って好きな曜日について尋ねたり答えたりすることで、曜日の言い方や好きなものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- 友達と好きな曜日に関するクイズを出し合うために、好きな曜日について尋ねたり答えたりする表現を使って、自分や友達の好きな曜日とその理由について伝え合う。
- 自分や相手の好きなことや一週間の過ごし方に関心を持ち、自らの好きな曜日を伝えるために、リアクションやジェスチャー等を用いて伝え、コミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

### 3 単元計画（3時間）

段階	配時	学習活動	手立て
見通す	1/3	<p>1 ALT による好きな曜日クイズを行い、単元のゴール像と見通しをもつ。</p> <p>○ 単元の学習内容と本時のねらいを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">単元のゴール：友達と好きな曜日クイズを出し合おう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習過程や1時間の流れ、単元で使用する英語表現を確認する。</li> <li>○ 映像を視聴したり ALT の話を聞いたりして、世界の子どもたちが放課後や週末にどのような生活をしているのかを知る。</li> <li>・他国の文化についての理解を深める。</li> <li>○ チャンツやリスニングを通して、曜日とその尋ね方(～day / What day is it today? / It's ～day.)に慣れ親しむ。</li> <li>・“The days of the week”を聞いたり歌ったりする。</li> <li>・一週間の予定を聞き、何曜日のことを話しているか考える。</li> <li>○ 振り返り <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の学習でできたこと、その理由など</li> <li>・最終活動に向けて、これからの学習で頑張りたいこと</li> </ul> </li> </ul>	<p>○ 見通しをもって学習を進めることができるように、単元の最終活動で行うクイズ活動のやりとりを見る場面を設定する。</p>
行う	2/3	<p>2 好きな曜日について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ALT と Small Talk をして、本時で用いる表現(～day / What day do you like? / I like ～days.)をつかむ。</li> <li>○ チャンツやメモリーゲームを通して、曜日の言い方や好きな曜日について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</li> <li>○ 学習者用端末を活用して、好きな曜日カードをつくる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな曜日とその理由を伝える英語表現(play/watch/go/study)を選び、文を作ったりイラストを準備したりする。</li> </ul> </li> <li>○ 振り返り <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の学習でできたこと、その理由</li> <li>・今日の学習でできなかったこと、その理由</li> <li>・次の学習（最終活動）に向けて頑張りたいこと</li> </ul> </li> </ul>	<p>○ 本時で用いる表現に慣れ親しむために、歌を歌ったり絵カードを使ったりして児童が楽しみながら英語を使うことができる活動を設定する。</p> <p>○ 好きな理由も合わせて伝えようとするができるように、単語カードを学習者端末に送る。(ICT)</p>
振り返る	3/3 本時	<p>3 今までの学習をもとに、相手に配慮しながら友達とクイズを出し合い、好きな曜日について尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教師と ALT とのデモンストレーションを見る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・リアクションやアイコンタクト、ジェスチャーなどの、相手に配慮したよりよいコミュニケーションの姿を確認する。</li> </ul> </li> <li>○ 好きな曜日に関するクイズ活動を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・クイズに向けて、自らの学習課題に合わせて学習内容を選択する。</li> <li>・相手に配慮しながら、好きな曜日を尋ねたり答えたりして伝え合おうとする。</li> <li>・代表児童のやりとりのよいところを自らの活動につなげる。</li> </ul> </li> <li>○ 振り返り <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語で好きな曜日について尋ねたり答えたりすることができたか</li> <li>・リアクションやジェスチャーなどを意識してやりとりができたか</li> <li>・友達のよいところを、自分の活動に生かすことができたか。</li> </ul> </li> </ul>	<p>○ 前時の振り返りを想起させ、自らの課題に合わせて学習内容を決定することができるようにする。</p> <p>○ 児童が自ら発話の練習をすることができるように、ALT によるお手本を収録したカードを学習者用端末に送る。(ICT)</p>

#### 4 主眼

クイズ活動に向けて自らの課題に応じて学習方法を選択することを通して、“What day do you like?”や“I like ~days.”といった表現に慣れ親しむことで、相手に配慮しながら自分の好きな曜日を伝え合おうとすることができるようにする。

#### 5 本時過程 **自己選択・自己決定の場（つなぎタイム）**

段階	学習活動・予想される児童の反応	手立て（○）と評価（◇）	配時							
導入	1 教師とALTとのデモンストレーションを見て、本時のめあてをつかむ。 <div><ul style="list-style-type: none"><li>・全部の曜日をしっかり覚えて、英語で言えるようになりたいな。</li><li>・途中でヒントを出せば、お互いにクイズを楽しむことができるな。</li><li>・ジェスチャーをつけると、相手にも伝わりやすいな。</li></ul></div>	○ 最終活動で使用する英語表現とやりとりの流れの見通しをもつために、教師とALTによるクイズ活動のデモンストレーションを見る場を設定する。	5							
展開	友達と好きな曜日クイズを出し合おう。									
	2 チャンツやゲームを行い、好きな曜日について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○ “The days of the week”を歌ったり、シャウトゲームをしたりして、“What day do you like?”や“I like ～days.”の表現に慣れ親しむ。	○ 最終活動で用いる表現に慣れ親しむために、楽しみながら繰り返し話したり聞いたりする場を設定する。	10							
	3 クイズ活動を行い、好きな曜日について友達と尋ねたり答えたりして伝え合う。 ○ クイズ活動に向けて、自らの課題に応じて、学習方法を選択する。 <div><div>【方法選択】</div><table><tr><td>根拠</td><td>クイズで使う英語をまどうまう言えないな</td><td>やりとりの仕方を上手にできるようにしたいな</td><td>友達の良いところを真似してみたいな</td></tr><tr><td>方法</td><td>お手本カードを聞きながら話す練習をする。</td><td>教師やALTに聞いたり一緒に練習したりする。</td><td>友だちと練習や助言をし合う。</td></tr></table></div>	根拠	クイズで使う英語をまどうまう言えないな	やりとりの仕方を上手にできるようにしたいな	友達の良いところを真似してみたいな	方法	お手本カードを聞きながら話す練習をする。	教師やALTに聞いたり一緒に練習したりする。	友だちと練習や助言をし合う。	○ 前時での自らの振り返りを想起させることで、自らの課題に合わせて学習方法を自分で選んだり決めたりできるようにする。
根拠	クイズで使う英語をまどうまう言えないな	やりとりの仕方を上手にできるようにしたいな	友達の良いところを真似してみたいな							
方法	お手本カードを聞きながら話す練習をする。	教師やALTに聞いたり一緒に練習したりする。	友だちと練習や助言をし合う。							
終末	【個別と協働の一体的充実】 <ul style="list-style-type: none"><li>・お手本カードを聞いた練習がうまくいっているか、同じ方法を選んだ友達とやりとりをして確かめる。</li><li>・友達と練習したけれど、曜日が答えられずにやりとりができなかったからお手本カードを聞き直す。</li></ul> ○ 友達とクイズを出し合い、好きな曜日を伝え合う。 <ul style="list-style-type: none"><li>・使用する英語表現や、よりよいコミュニケーションを図るために大切なことを確認してから活動に臨む。</li><li>・活動途中で代表児童によるやりとりを見て、その後の自分たちにつなげて活動を進める。</li></ul> <div>A: What day do you like?      B: This is my week. A: Do you like Mondays?      B: No, I don't. A: Umm, do you like Thursdays? B: Yes, I do! I like Thursday. I play soccer on Thursdays.</div> 4 学習を振り返る。 <div><ul style="list-style-type: none"><li>・お手本カードを聞いて練習をしたので、友達と英語でクイズを出し合うことができました。</li><li>・〇〇さんのまねをして、ジェスチャーをしながら曜日クイズを出し合いました。</li><li>・他の友達の好きな曜日も聞いてみたいと思いました。</li></ul></div>	○ 自分の選んだ方法の手ごたえ確かめることができるようにするために、個別で練習ことを友達とやりとりに活かす場や友達との練習で新たに課題と感じたところを個別で学びなおすことができる場を設定する。								
		○ 主体的に発話の練習に取り組んで英語の音声に慣れ親しむことができるようにするために、学習者用端末を活用して収録されたお手本の音声を聞くことができるようにする。(ICT)	15							
		◇ 好きな曜日について、既習の語句や表現を用いて、相手に配慮しながら伝え合おうとしている。 【思・判・表】 ○ 自分の学びについて評価することができるように、振り返りの視点を示し、振り返りを書く場を設定する。	5							

# 第4学年4組 外国語活動 “I like Mondays.”

学習活動・予想される児童の反応	本時見られた深く学び続ける子どもの姿														
<p>1 教師とALTとのデモンストレーションを見て、本時のめあてをつかむ。</p> <div><ul style="list-style-type: none"><li>・全部の曜日をしっかりと覚えて、英語で言えるようになりたいな。</li><li>・途中でヒントを出せば、お互いにクイズを楽しむことができるな。</li><li>・ジェスチャーをつけると、相手にも伝わりやすいな。</li></ul></div> <div>友達と好きな曜日クイズを出し合おう。</div> <p>2 チャンツやゲームを行い、好きな曜日について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>○ “The days of the week” を歌ったり、シャウトゲームをしたりして、“What day do you like?”や“I like ～ days.”の表現に慣れ親しむ。</p> <p>3 クイズ活動を行い、好きな曜日について友達と尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> <div><p>○ クイズ活動に向けて、自らの課題に応じて、学習方法を選択する。</p><table><tr><th>根拠</th><td>クイズで使う英語をまどうまく言えないな</td><td>やりとりの仕方を上手にできるようにしたいな</td><td>友達の良いところを真似してみたいな</td></tr><tr><th>方法</th><td>お手本カードを聞きながら話す練習をする。</td><td>教師やALTに聞いたり一緒に練習したりする。</td><td>友だちと練習や助言をし合う。</td></tr></table><p>【個別と協働の一体的充実】</p><ul style="list-style-type: none"><li>・お手本カードを聞いた練習がうまくいっているか、同じ方法を選んだ友達とやりとりをして確かめる。</li><li>・友達と練習したけれど、曜日が答えられずにやりとりができなかったからお手本カードを聞き直す。</li></ul><p>○ 友達とクイズを出し合い、好きな曜日を伝え合う。</p><ul style="list-style-type: none"><li>・使用する英語表現や、よりよいコミュニケーションを図るために大切なことを確認してから活動に臨む。</li><li>・活動途中で代表児童によるやりとりを見て、その後の自分たちにつなげて活動を進める。</li></ul><div><p>A: What day do you like?      B: This is my week.</p><p>A: Do you like Mondays?      B: No, I don't.</p><p>A: Umm, do you like Thursdays?</p><p>B: Yes, I do! I like Thursday. I play soccer on Thursdays.</p></div><p>4 学習を振り返る。</p><div><ul style="list-style-type: none"><li>・お手本カードを聞いて練習をしたので、友達と英語でクイズを出し合うことができました。</li><li>・〇〇さんのまねをして、ジェスチャーをしながら曜日クイズを出し合いました。</li><li>・他の友達の好きな曜日にも聞いてみたいと思いました。</li></ul></div></div>	根拠	クイズで使う英語をまどうまく言えないな	やりとりの仕方を上手にできるようにしたいな	友達の良いところを真似してみたいな	方法	お手本カードを聞きながら話す練習をする。	教師やALTに聞いたり一緒に練習したりする。	友だちと練習や助言をし合う。	<p>○ 学習者用端末に録音されたお手本カードを聞く練習方法と、友達と実際にやり取りをする練習方法とを、自由に選択することができるようにしたことで、英語の音声やリズムに慣れ親しもうしたり（資料1）、相手に配慮したコミュニケーションの仕方を身に付けようとしたり（資料2）するような、自らの課題を解決するために取り組む姿が見られた。</p> <p>また、クイズ活動中に代表児童のやり取りを見る場面を設定したことで、よりよいコミュニケーションを図るために大切な視点を改めて確認し、その後の自らのやり取りにつなげようとする姿が見られた。</p> <div><div></div><div>【資料1】</div><div></div><div>【資料2】</div></div> <div><p>○ クイズ活動の前に児童が自らの課題に合った練習方法を選択する場面を設定したことで、「友達と話すときに自分が好きな曜日をうまく言えた」「みんなにクイズを出すことができた」と実感する姿（資料3）が見られた。</p><table><tr><td>〈うまくいった・できたこと/理由〉めあての達成度</td></tr><tr><td>友達と話す時にうまく言えた。 理由は話す前に、ふり返りをしたから。</td></tr><tr><td>〈うまくいった・できたこと/理由〉めあての達成度</td></tr><tr><td>みんなにクイズをだすことができた。 理由…ジョイ先生にえいごを聞いたから</td></tr><tr><td>〈うまくいった・できたこと/理由〉めあての達成度</td></tr><tr><td>友達に、わたしの好きな曜日がいった。 理由は、曜日を言う前に練習したから。</td></tr></table><p>【資料3 児童の本時の振り返り(できたこととその理由)】</p></div>	〈うまくいった・できたこと/理由〉めあての達成度	友達と話す時にうまく言えた。 理由は話す前に、ふり返りをしたから。	〈うまくいった・できたこと/理由〉めあての達成度	みんなにクイズをだすことができた。 理由…ジョイ先生にえいごを聞いたから	〈うまくいった・できたこと/理由〉めあての達成度	友達に、わたしの好きな曜日がいった。 理由は、曜日を言う前に練習したから。
根拠	クイズで使う英語をまどうまく言えないな	やりとりの仕方を上手にできるようにしたいな	友達の良いところを真似してみたいな												
方法	お手本カードを聞きながら話す練習をする。	教師やALTに聞いたり一緒に練習したりする。	友だちと練習や助言をし合う。												
〈うまくいった・できたこと/理由〉めあての達成度															
友達と話す時にうまく言えた。 理由は話す前に、ふり返りをしたから。															
〈うまくいった・できたこと/理由〉めあての達成度															
みんなにクイズをだすことができた。 理由…ジョイ先生にえいごを聞いたから															
〈うまくいった・できたこと/理由〉めあての達成度															
友達に、わたしの好きな曜日がいった。 理由は、曜日を言う前に練習したから。															

- 最終活動であるクイズ活動のデモンストレーションを単元の始めにも行っていたことで、単元全体を通してどんな英語表現を身に付ければよいかという見通しをもちながら学ぶ子どもの姿が見られた。
- ICTを活用した学習方法を選択できるようにしたことで、児童が自分のペースで英語の音声やリズムに慣れ親しむことができ、自らの課題を解決するために学習方法を自己選択・自己決定する姿が見られた。
- △ 全体のめあてのみを提示したことで、一人一人の児童が本時で何ができるようになりたいかという目標を本時の始めにもつことができなかった。前時の振り返りを早い段階で行い、それぞれが自らのめあてを明確にする場面を設定する必要があった。